



なぞって練習

車を引き入れさせて  
 源氏の乳母の家へ下り  
 た。惟光の兄の阿闍  
 梨、乳母の婿の三河守、  
 娘などが皆このごろは  
 ここに来ていて、こゝん  
 なふうには源氏自身で  
 見舞いに来てくれた  
 ことを非常にありがた  
 がつていた。尼も起き  
 上がっていた。

■参考

※乳母【めのと】

※下りた【お】

※阿闍梨【あじゃり】

※三河守【みかわのかみ】

(青空文庫のフリガナより)